



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

立春が過ぎ、暦の上では「春」ですが、まだまだ寒い日が続きます。寒さ厳しい現場仕事の後は、暖かなお風呂と布団で体を休め、風邪を引かないように心がけましょう。

ところで、2月3日の「節分」を皆さんはどのように過ごしましたか。



玄関に「柊鰯（ヒイラギいわし）」を飾り、「鬼は外、福は内」の声と共に「豆まき」をし、歳の数だけ豆を食べ、今年の恵方「北北西」を向いて「恵方巻」をまるかぶりして、邪気を祓い、厄を払い、福を呼び込み、商売繁盛を願ったでしょうか。

節分とは随分と多様な風習と願い事の多い、欲張りな行事です。人間の動物としての本能が厳しい冬を乗り越え、春を迎えることへの喜びと期待が多様な慣習を生んだのかもしれない。

生物には、その生活史に影響を及ぼす要因が気温ではなく、日照時間に因るものが多くあります。これは気温変化に先駆けて、太陽の光で季節を先取りし、繁殖や越冬の準備をいち早く、確実にを行うための遺伝的知恵と思われる。

私たちも地球に生きる生物です。地球で生きる知恵を狂わすことのないようなライフスタイル確立しましょう。



シブヤの庭・2月

寒さに負けず、凛とした姿と甘い香りで花の少ない1月の庭を楽しませてくれた「スイセン」の花。雪の重みに花茎を折られ、風に吹かれ、チョット疲れてきました。

香りを引き継ぎ、咲き始めたのは「ロウバイ」。枯れ木に咲いた、蠟細工のような半透明の黄色の花から甘い香りを2月中旬頃まで漂わせています。

【ISO14001揭示板】



1月(134号)では2015年版のISO14001に取り組む際に考慮すべき5つのポイントを紹介しました。

その中から、今月は耳なじみのない ④ライフサイクル思考 についてと

「ISO 14001:2015規格の概要とJQAの審査の視点」から

項番6. 計画「リスク及び機会」の導入、ライフサイクルの視点を強化 について

「一般社団法人日本品質機構」のHPより掲載します。 http://www.jqa.jp/service_list/management/iso_info/iso_network/vol27/

HPには、「審査の視点とチェックポイント」「現場における留意点」などが記載されています。社員皆さんもHPにアクセスしていただき、理解を深め、内部監査、外部審査等、今後のISO活動に活かして行きましょう。

★☆☆14001に取り組む際に考慮すべき、5つのポイント から

④ライフサイクル思考

2015年版のISO 14001では、EMSによる管理と影響の範囲を、自組織が調達する製品・サービスの環境管理だけでなく、原料の採取段階から、製品の使用、消費、廃棄に至るまで、ライフサイクル全体に広げることが要求されています。

ライフサイクルの視点が強化されることで、製品設計段階やアウトソース先の管理など、組織の環境活動に幅ができることが期待できるほか、環境パフォーマンスの向上を含む実効性のあるEMSを展開することが期待できます。

項番6.1.2（環境側面）では、組織が管理できる環境側面、影響を及ぼすことのできる環境側面、及びそれに伴う環境影響を決定する際には、ライフサイクルの視点を考慮することを要求しています。

項番8.1（運用の計画及び管理）でも、組織の上流（サプライチェーン）及び下流（製品・サービスの提供に伴う物流、販売、使用から最終廃棄に至る流れ）に関してライフサイクルの視点を考慮することを要求しています。

★☆☆ISO 14001:2015規格の概要とJQAの審査の視点

項番6. 計画「リスク及び機会」の導入、ライフサイクルの視点を強化

2015年版のISO 14001では、共通要素に従って新たに「リスク及び機会」が導入されました。項番6(計画)では、組織の事業運営に関して、環境に関連した「リスク及び機会」をとらえ、それらに取り組むための計画を策定することが示されています。また、管理できる環境側面や影響を及ぼすことのできる環境側面を特定する際にはライフサイクルの視点を考慮することを求めています。

項番6.1.4（取組みの計画策定）では、EMSの意図した成果を達成するための取組みとして、項番6.1（リスク及び機会への取組み）で決定した3つの課題（リスク及び機会、著しい環境側面、順守義務）への取組みを具体的に計画することを要求しています。項番6.1.4で策定する計画は、役割・責任や資源配分を含む経営戦略レベルのものであり、この計画をもとに、項番6.2（環境目標及びそれを達成するための計画策定）で関連部門や階層において、実行可能な戦術的計画に展開されることが求められています。

◎審査の視点とチェックポイント

審査では、組織が取り組む必要があると判断した「リスク及び機会」をどのような方法（プロセス）で行うのか、その仕組みと、決定された「リスク及び機会」を確認します。決定されたリスク及び機会については、項番6.1.4（取組みの計画策定）や項番6.2.1（環境目標）、項番9.3（マネジメントレビュー）のインプットとなっていることを確認します。また、リスク及び機会はこれらの取組みを通じて戦略的に事業運営に反映され、組織が意図したEMSの成果や環境パフォーマンスの向上に寄与していること、などを審査します。

☆現場における留意事項

項番6.2（環境目標及びそれを達成するための計画策定）

現場で展開されている環境目標及びそれを達成するための計画が、どのリスクを下げるため、どのように実施されているのかについて、意識してください。それにより、本当にそのリスクが低減されたか、その機会を活用したかを監視・測定することが可能となり、結果として対策の有効性をチェックすることにつながります。

